

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年9月29日(火)午後7時～午後8時45分		
会場	日田公民館	出席者数	50人 (男43・女7)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p><市長講話></p> <p>「平成21年度寒河江市の予算について」の資料を用いて講話 「景気・雇用対策」について、依然として厳しい状況にあるが国、県と共に景気・雇用対策に努めていきたい。「少子・高齢化対策(人口の減少)」について、人口予測で見れば50年後、本市は1万2千人ほどの減少見込みだが、西村山や県は半減するとの県の予測であり、今のうちから少子化対策を講じていかなければならない。「財政健全化の取り組み」を中心に講話</p> <p><質疑・応答></p> <p>(質問：意見)</p> <p>1 五反堰導水路維持管理組合として、平成14年から農道の拡幅など市と改良区などの助成を受けながら整備をしてきたが、公民館の裏の水路の整備が残っている。ここは白地であり改良区の助成もない。地権者には以前からお願いはしてきたが心苦しい。公民館に入る道路も市道に認定はなったが、整備されていない。公民館の周辺整備ということでお願いできないか。</p> <p>(回答：市長)</p> <p>水路の整備については、市単独でもできないので現場を見させてもらい、団体とも話しをして検討していく。ただ、一気にはできない。順番をつけて整備していくことになる。</p> <p>(質問：意見)</p> <p>2 中向いの沼川にかかる3本の橋のうち、11月に1番上の橋が着工される。2本が残っている。今年4月に市長に陳情にいったが、1度にはできないが、2年置きぐらいでと考えていると理解を得た。昭和33年に建設された橋で、欄干もなく危険で老朽化している。ぜひお願いしたい。補助金の問題で国50%、県4%、市15%、受益者が31パーセントと負担が大きい。現在62町歩、組合員430名ほどいるが、1反歩5,000円を出して3年間積んでがんばっている。補助金をもう少しあげてもらえないかお願いしたい。</p> <p>(回答：市長)</p>			

3本あるので一気にはなかなか難しい。まずは西側の1本からということで昨年設計、今年建設と1年置きぐらいになるのかと考えている。補助金については、先ほどのとおりで県が4%と少ないので応分の負担を県に対してこれからもお願いしていく。

(質問：意見)

- 3 112号線を宝から横断し通学路となっている地下道は、出入り口に転落防止柵が取り付けられ、傾斜が急で自転車で下る時は急ブレーキをかけなければならず上る時はかなりの力を要し、高齢者には特に厳しいため、地下道は通らず自動車道を自転車で横断する人がほとんどである。歩行者用の信号もないため、非常に危険である。地下道の出入り口を入りやすいように傾斜を緩やかにするか、自動車道に歩行者用の信号機をつけるか改善を以前から要望をしていたが、傾斜を緩やかにするには、土地を確保しなければならない。地権者もあるということで、なかなか進まない。市から国や地権者に働きかけて改善してもらいたい。

(回答：市長)

高屋に歩道橋があるが、高齢者には階段の上り下りが大変で使わなくなっており、地元から歩道橋を壊して下を横断できるように信号機をつけてもらいたいということで、県と警察と、市と地元の皆さんと協議をして進めているところである。地元として地域としてどのようにしたいのかまとめていただければ、行政でそれをもとに調整していくので実現が早いのではないかと思う。地元の取りまとめをお願いしたい。

(質問：意見)

- 4 112号のフラワーロードの植栽については、大勢の市民が出てきれいなフラワーロードをつくと他の市町村からうらやましがられているが、市長はどのような気持ちで植栽に参加されたのか。

柴橋、高松の農家の方は高速関連事業で大型のコンバインやスピードスプレーなどの導入を行ってきた。同じ農業をしている宝や日田のわれわれにはなんの恩恵もない。日田地区は東端なのでゴミ焼却場や下水の終末処理場などいらぬものばかりよこされている。いろいろな農業施策の特段の配慮をお願いしたい。

天童大江線を渡り中向地区にいくに地下道が1本あるものの、1番使う(横断する)ところには信号機も横断歩道もない。通勤時間帯などは何度も左右確認を行い、やっと横断している。ぜひ、信号機の設置をお願いしたい。

(回答：市長)

112号のフラワーロードは市民の方々が植栽して管理してくださっているということで感謝している。あたたかい気持ちをもって対応していただいているが、今後もお願いしたいと考えている。

日田地区は観光さくらんぼ園のりっぱな施設もあるし、寒河江の農業をささえてもらっている地域と思っている。寒河江は農業ですので大事にしていかなければならないと思う。活力ある農業を皆さんとともに作っていききたい。

信号機は警察で付けるもので、市としては地域からの要望を受けて警察にもお願いしていくが、予算的なことや要望箇所も多いのですぐには実施とはいかないと思う。粘り強く要望していく。

(質問：意見)

- 5 宝地区の通学路が両側側溝整備されてきたが、一部未整備のところがある。引き続き整備をお願いしたい。日田の信号機から田中までの通学路が片側に側溝も歩道もない。ふたがあると思い、子どもやお年寄りが落ちたということも聞いている。通学路整備をお願いしたい。

(回答：市長)

道路の整備などの要望がある中で、安心安全の観点から子どもの通学路を確保することは優先順位が高いと思われるが、前に要望したからということではなく、困っているのであれば引き続き要望してもらいたい。現場を見させてもらい、優先順位を決めて対応していきたい。

(質問：意見)

- 6 公民館にくるところが暗く、電柱2本に街灯をつけたいと思っていたが、6月に申請しなかったので余っていたらこちらに回してもらえないものか。

(回答：市長)

東北電力からは、毎年20基ほどつけていただいているが、今年度はすべて決まっているのか、調べて連絡することにする。

(質問：意見)

- 7 今日の座談会にも若い人はあまりいない。若者に魅力あるまちづくりを進めていくうえで、市長と若い人との交流の場を設けてはどうか。たとえば農村部であれば、材料を持ち寄って昼飯をいっしょに食べて話し合うとかして、来年度予算に反映するなどしてはどうか。

(回答：市長)

寒河江が元気を出していくには、若い人の力が大きい。神輿だけでなく、日ごろからいろいろな活動に参加していただく機会をつくっていくことも必要と思う。さらに雇用も大事である。優秀な企業を誘致して雇用の場を確保して、支援していかなければならない。若い人が元気のあるような施策を来年度の予算編成において検討していきたい。

芋煮を囲んでの若い人との交流会は、来年度以降ということで考えていきたい。

(質問：意見)

8 婦人会がなくなった一つの原因は、役員の負担が大きくなり役員のなり手がなくなることもある。日田地区は女性部ということで組織をつくったが、行政からはいろんな事業のボランティアとして、会議や事業の参加要請がある。参加する人が集まりやすい日時や会議の持ち方を検討してほしい。

クリーン作戦時のゴミのボランティア袋が少なく、町会で袋を用意したことがあるので、もっといただきたい。

(回答：市長)

会議や事業など参加しやすい環境づくりに心がけていかなければならない。一気にはできないが、参加される方の都合のつく曜日や時間帯を考えていながら、組織を維持する手立てをしていかなければならないと思う。全庁的に検討していきたい。

不足することのないように対応していきたい。

(質問：意見)

9 市長が変わったが前市長から引き継いだことや、市政をどのようにしたいのかお聞きしたい。

(回答：市長)

具体的なものの引き継ぎはないが、行政の継続性として市民の皆様に迷惑のかかるようなことで変化を出していくことは考えていない。ただ新市長としての施策もある。寒河江に来てよかった、寒河江に住んでよかったといわれるような支援策を講じていかなければならない。特に若い人が定住できるように子育て支援の充実や、雇用の場の確保、中学校給食の実施、高齢者福祉の拡充など私のマニフェストに掲げているものを実施していくことになる。。

高速交通時代に寒河江も資源を活用し、県外からの観光客を呼び込んでいきたい。特に仙台は100万都市ですので、お客を呼び込んでいきたい。また、産直の時代なのでこちらから品物を販売したいという意欲ある若者もいるが、機会がなかなかないということで行政が手助けをしていって、商売ができるように応援していく、交流していくことが必要である。

(質問：意見)

10 日田公民館は宝くじからの1,500万円の補助を受け建設したが、それがいない場合、市の600万円の補助ある。高松地区の公民館長から建設資金について相談があり、うまい方法ないものか、両方もらうことはできないのか。

公民館の建て替えのときの補助額や備品の拡大などをお願いしたい。

(回答：市長)

今年はみずき団地で市からの600万円の補助を受け建設することになっている。次の年から両方とはいかない。備品等の拡大の件は承った。

(質問：意見)

11 文化祭での趣味の会への5万円の助成の復活と、市長賞を今年もお願いしたい。

(回答：市長)

支援していくことになればここだけではなくるので、全体を支援していくことになるので、頭には入れておくが事情を察していただきたい。市長賞はこれまでどおり対応します。

(質問：意見)

12 前市長は紅秀峰の里ということで力を入れてきたが、紅秀峰は手がかかる。市でいくら推進しても佐藤錦の倍ぐらいで売らないと生産者としてはやっていけないし、路線には乗っていけない。紅秀峰を増産していくにはそうした問題もあるということで、われわれ生産者もがんばるのでご尽力をいただきたい。

(回答：市長)

7月2、3日と大阪にJA さがえ西村山の組合長と紅秀峰のセールスに行ってきたが、市場関係者は7月になるといろいろな果物がでてくるので、紅秀峰は日持ちがいいし佐藤錦を切り上げて6月20日過ぎたら出荷してほしいと言っている。一朝一夕にはいかないが、さくらんぼは農業の中心ですので産地としてどのようにして生き残っていくか、園芸試験場で輸送のパックなども開発していると新聞にのっていたが、それらも活用しながら農協といっしょになって、寒河江のさくらんぼはほかと違うということで東京、大阪などの消費者にアピールしていきたい。

後日回答

(項番6に対する回答)

6 このことにつきましては、地域座談会が開催された後の、10月2日に、高貝及び馬寄の町会長からも相談を受けております。

担当の市民生活課で現地を調査のうえ、1か所については11月中に設置する予定であります。

希望されているもう1か所については、現在のところ、防犯街路灯を設置するための電柱が敷設されておりません。

町会長と電柱が敷設した後、対応について検討することと協議しております。